

(様式例)

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・安全かつ集中して授業に取り組む環境を整えることができた。
- ・制作後に鑑賞時間を多く取り入れ、振り返りをさせると共にお互いの個性を認め合い、高め合う環境を作ることができた。

(2) 課題

- ・学年によって、授業規律を徹底されていない状態があった。安全かつ集中して授業に取り組む環境を整える。
- ・課題への理解を深め、制作意欲につなげるために、ICT を効果的に授業に取り入れる。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・小学校時に習った基礎的な知識を確認し、表現の幅をさらに広げるために、多くの素材や道具に触れさせ、基礎基本を習得させていく。	・様々な表現方法を学び、試行錯誤しながら創意工夫できる時間をとる。 ・鑑賞において、自ら思いを表現していけるように、ワークシートの工夫やICTの活用を取り入れた授業を行う。	・振り返りシートを活用させ、次への課題意欲につなげていく習慣をつけさせていく。 ・互いに鑑賞し合い、高め合える環境をつくる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現方法の幅を広げられるように、新たな素材や道具に触れさせ、それを活用できる能力を養わせる。 ・時間を意識して制作する計画性を促す。	・様々な表現方法から自ら選択し、試行錯誤しながら制作する授業を行う。 ・具体的に自分の思いを自分の言葉で表現できる鑑賞を促す。	・制作途中に相互の鑑賞を取り入れるなどの授業展開の工夫を行い、集中力を持続させる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・話を聞く時に興味を持たせる工夫を行い、知識の定着を図る。 ・表現方法の幅を広げられるように、新たな素材や道具に触れさせそれを応用する能力を養わせる。	・様々な表現方法から自ら選択し、試行錯誤しながら制作する授業を行う。 ・様々な表現方法や作者の思いへの理解を深められるように、ワークシートの工夫やICTの活用を取り入れた授業を行う。	・作業する時、話を聞く時のメリハリをつけられる習慣をつける。